

【投稿】 原発否定でなく安全技術の開発が本筋

会員 児玉朗

国を二つに分けてしまいそうな原発問題である。今まで原子力の利用は「国益」にかなうとして国策で推進してきたはずであるが、原発推進派も原発否定派もその多くは自らの利害によるものと大方の国民に知れ渡ってしまった。

エネルギー資源の乏しい我が国において、原子力発電は私欲とは別に国家としての重要な科学技術のはずである。それを簡単に「止める」と言って良いものだろうか。これまでの開発や運用にかけた時間と費用に蓄積されたノウハウをドブに捨て去るつもりだろうか。

原子力が暴走しないように、用意周到に幾重にも危機対策がなされているはずだったのに、「想定外」の事態への対策を講じてこなかったことによって、放射能汚染をもたらしたのである。その反省もなく原発を否定するのは幼稚である。リスク管理をまともな状態に戻し、危機対策に技術開発が必要なら、その技術を開発することが本筋である。